


県当局、「給与カットは避けられない。」

表 1

	05から08で増えた年収	給与構造改革がなかったら
40歳→43歳 教諭の場合	+53,959円	+496,423円

表2

年間勤務時間 (下段賃金)	長期休業日以外の 残業平均時間	超過勤務含む年間勤務時間 (下段賃金)
1944時間	約2時間	2350時間
年収700万円		年収846万円

■10月27日月曜日、第1回熊本県総務部長との交渉が行われました。冒頭、総務部長が、県財政状況の厳しさについて説明し、「今後も事業の見直しに最後まで努力するが、給与カットは避けられない。」との話がありました。

■既に、40歳の教諭は、05年から08年の4年間に53,959円（年間）しか昇給していません。05年に行われた給与構造改革以前の給与表では、50万円近い昇給となっていました。（表1参照）この上さらなる給与カットが行われるのです。

■さらには、現在の学校は事務処理の増加等により、超過勤務が常態化しています。熊教組の調査によると54.3%の教職員が1日あたり2時間以上の超過勤務をしています。教員には超過勤務手当もありません。超過勤務した給与を正に支給されたとすると、年収約700万円の教職員については実質的な給与は846万円、毎日3時間の超過勤務をしている教職員の給与は、1000万円近くになると考えられます。（表2参照）

■私たちは、傘もささずに嵐に耐えていかなければならないのでしょうか。